Miyazaki International College

Course Syllabus

Fall 2019

|  |  |
| --- | --- |
| Course Title ( Credits ) | EDU309：道徳教育論 (2 credits) |
| Course Designation for TC | 教員の免許状取得のための必修科目  【科目】  道徳的、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目  【各科目に含めることが必要な事項】  道徳の理論及び指導法 |
| Content Teacher | |
| Instructor | 清 智利（単独） |
| E-mail address | csei@sky.miyazaki-mic.ac.jp |
| Office/Ext |  |
| Office hours | 質問はメールで受け付けます。 |
| Language Teacher | |
| Instructor |  |
| E-mail address |  |
| Office/Ext |  |
| Office hours |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Course Description: | | |
| 【全体目標】  道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動である。  道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。 | | |
| Course Objectives: | | |
| 【一般目標】  (1)道徳の理論  道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。  (2)道徳の指導法  学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法を理解する。  【到達目標】  (1)道徳の理論  1)道徳の本質(道徳とは何か)を説明できる。  2)道徳教育の歴史や現代社会における道徳教育の課題(いじめ・情報モラル等)を理解している。  3)子供の心の成長と道徳性の発達について理解している。  4)学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容を理解している。  (2)道徳の指導法  1)学校における道徳教育の指導計画や教育活動全体を通じた指導の必要性を理解している。  2)道徳科の特質を生かした多様な指導方法の特徴を理解している。  3)道徳科における教材の特徴を踏まえて、授業設計に活用することができる。  4)授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。  5)道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方を理解している。  6)模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。 | | |
| Course Schedule | | |
| Day | Topic | Content/Activities |
| 1 | 「道徳」とは何か | 道徳的問題について具体的に考えながら、道徳の本質、道徳教育の意義について、「道徳」概念の歴史的変遷を踏まえて理解する。さらに、「道徳を教える」とはどういうことかについて、考えを深める。（目標(1)-1)） |
| 2 | 現代社会における道徳教育の課題 | 我が国の道徳教育の歴史を踏まえたうえで、現代社会における道徳教育の課題について考え、道徳の教科化の背景について理解する。特に、いじめ問題、グローバル化を背景とした社会の変化に伴う価値観の多様化を取り上げる。（目標(1)-2)） |
| 3 | 子どもの心の成長と道徳性の発達① | 幼児期から児童期にかけての子どもの心の成長と道徳性の発達について、主にピアジェの研究を中心に理解する。道徳性の発達が他律から自律へ向かうこと、幼児期から児童期においては大人の影響が大きいことを理解する。（目標(1)-3)） |
| 4 | 子どもの心の成長と道徳性の発達② | 児童期から青年期にかけての子どもの心の成長と道徳性の発達について、主にコールバーグの認知発達理論と、道徳的思考の発達に関する理論を中心に学習する。道徳性の発達は単なる知識の集積ではなく、認知構造や社会的視点の変化を指すことを理解する。（目標(1)-3)） |
| 5 | 学校教育における道徳教育と道徳科の目標 | 中学校学習指導要領及び中学校学習指導要領解説「特別の教科　道徳編」に基づき、学校教育における道徳教育の位置づけ、道徳科の目標・指導内容・指導計画について学習する。学校の教育活動全体を通じて道徳教育を行うことを理解する。（目標(1)-4),(2)-1)） |
| 6 | 道徳の授業構成と指導方法の特徴 | 道徳教育の方法の基本的な考え方を理解したうえで、道徳の授業構成（指導過程）と道徳科の特質を生かした指導方法について学習する。特に、道徳科における質の高い多様な指導法について具体的に学習する。（目標(2)-2)） |
| 7 | 道徳授業の実際 | 実際の道徳授業のビデオを見て、授業の流れや子どもの反応、教師の働きかけ、教具・教育方法の工夫について学習する。学校や学級の実態、授業のねらいに応じて適切な指導方法を選択する必要があることを理解する。（目標(2)-2)） |
| 8 | 道徳科における教材の特徴と教材分析① | 道徳科における教材の特徴を、内容項目と関連させながら具体的に理解するとともに、授業づくりにどのように関連しているかを学習する。また、教材の特徴にあった指導方法についても理解する。（目標(2)-3)） |
| 9 | 道徳科における教材の特徴と教材分析② | 読み物教材の分析から発問を設定する手法について、具体的な教材を用いて学習する。主に、登場人物への自我関与が中心の学習となる教材について理解する。（目標(2)-3)） |
| 10 | 道徳科の学習指導案の作成 | 基本的な学習指導案の構成と目的、学習指導案の意義について理解し、ねらいを明確にした学習指導案の作成上のポイント、１時間の授業の指導過程とその工夫について学習する。（目標(2)-3),4)） |
| 11 | 道徳教育における評価と道徳科の評価の在り方 | 中学校学習指導要領解説「特別の教科　道徳編」に基づき、道徳教育における評価と道徳科の評価の在り方について理解する。また、道徳教育に関する評価の手法について学習する。（目標(2)-5)） |
| 12 | 模擬授業と授業改善① | 例示の指導案をもとに模擬授業を行い、導入や資料提示の工夫、効果的な板書の工夫、話し方について、授業改善の視点を学習する。（目標(2)-2),6)） |
| 13 | 模擬授業と授業改善② | 例示の指導案をもとに模擬授業を行い、多面的・多角的な考えが表出されるための話し合い活動やワークシートの工夫について、授業改善の視点を学習する。（目標(2)-2),6)） |
| 14 | 模擬授業と授業改善③ | 例示の指導案をもとに模擬授業を行い、発達の段階に応じた役割演技や体験活動の技術とそのポイントについて、授業改善の視点を学習する。（目標(2)-2),6)） |
| 15 | 道徳科の学習指導案の作成 | これまでの学習内容を踏まえて、発達の段階に応じた学習指導案を作成する。（目標(2)-2),3),4)） |
|  | 期末試験 |  |
|  | | |
| Required Materials: | | |
| テキスト：「中学校学習指導要領解説　特別の教科　道徳編」（最新版）  　参考書：関係法規等 | | |
| Course Policies (Attendance, etc.) | | |
| 教員の崇高な使命をよく理解するとともに、道徳教育によって教師と生徒及び生徒相互の人間関係 を深めることが大切であることをしっかり認識して欲しい。授業は欠席や遅刻をすることなく、積 極的に参加するように心がけること。特に、時間に几帳面であることと、日常生活の態度（あいさ つ、身なり、言葉遣い等）には気をつけること。  学生は、道徳の理論と実践を学ぶが、中学校の道徳の模擬授業に取り組む。事前に道徳の指導案 を作成し、配布し、それに基づいて授業を行う。授業の後には合評会を実施し、意見を交換しあう。 割り当てられた研究発表については、きちんと調べてその要点などを発表する。説明の不足した部分や重要ポイントについては補足説明を加える。 学生はさらにその日の授業に関した課題が与えられるが、グループ活動によりその課題に取り組み、発表を行う。 | | |
| Class Preparation and Review | | |
| 事前・事後学習として週４時間以上行うこと。  講義内容について、シラバスの到達目標に記載されているように自分の言葉で他者に説明できるように努めること。 | | |
| Grades and Grading Standards | | |
| 学習指導案　50％　　定期試験　50％ | | |
| Methods of Feedback: | | |
| レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。  ・コメントを記載して返却する。  ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。  ・答案例を配布する。 | | |
| Diploma Policy Objectives: | | |
| Work completed in this course helps students achieve the following Diploma Policy objective(s): | | |
| Notes: | | |
| 授業中に示される参考文献で基礎となる知識・情報を調べておくこと。 | | |